

以下は2022年春休みにカナダ・ヴィクトリア大学オンライン留学に参加した学生による留学報告書です。①-③の3名分です。

①

## オンライン留学報告書

今回、4週間のオンライン留学に参加したが、カナダの文化や習慣について英語を通して知ることができた。例えば、バンクーバーは森が豊かな地域であることや、アジア系の住民が多いこと、そして自然が豊かなことからハイキングやスキーなどアウトドアのアクティビティが楽しめることなどを知ることができ、実際にカナダへ行って渡航したいという気持ちが強くなった。

私が参加していたクラスで、仙台出身の学生はおそらく自分だけだったと思われる。そのため、自分の住んでいる地域について紹介する授業では、他県の学生から驚かれることもあれば、逆に自分が他県の特徴について初めて知って驚いたこともあった。他県の学生と英語で交流できたことが良い機会となった。

担当の先生は、授業の初日に、授業中に文法や単語を間違っても構わないので恥ずかしがらずに積極的に情報や意見を発信し、英語のみで話すようにと話していた。確かに分からないからといってただ黙っているだけでは何も伝わらないと思い、私はとにかく知っている単語をできる限り使って話すように努めた。授業中に自分が間違った英語を使ってしまったことが何度かあったが、その都度先生が訂正してくださったので、黙らずに積極的に話して良かったと感じた。もしあの時自分が黙ったままであれば、間違った英語を今後もそのまま使っていたかもしれないと思うからである。このことから、積極的に話すことで自分の英語の間違いにより多く気づき、正しいことを多く学べることに気づいた。また、自分が積極性を持てるようになった点で成長できたと感じている。

リーディングやライティングなどの課題がいくつか出されたとき、自分の知らなかった単語が多く出てきたため、辞書を見ながら課題に取り組むことがあった。特に、気持ちや感情を表す形容詞に関して私は基礎的な単語しか知らなかったため、多少きつかったが、他にも日常会話で使われる表現を覚えることができた。日本の中学校や高校の英語の授業は、私の経験上、文章を読んで単語や文法を覚えることが多く、日常会話はそれほど重視しておらず気持ちを表現する単語を細かくは教わらない印象があるので、オンライン留学の課題や先生や他学生との会話を通して新たに日常会話における表現を知る良い機会になったと感じている。

今回のオンライン留学で多くのことを学び、長期留学へ行きたいという気持ちが強くなった。私は今年度で卒業予定であることやその後の進路を考えると在学中の長期留学はおそらく不可能だと思われるが、大学卒業後に何らかの機会にカナダへ語学留学に行きたいと考えている。

## オンライン留学報告書

私は、2022年度の秋学期からヴィクトリア大学に留学する予定のため、授業の内容や雰囲気を知るためにこのオンライン留学に参加した。今まで、オンラインで留学する意味があるのかと疑問に思っていたが、この留学を通して、自分を見つめ直し、これから秋の留学に向けて自分が何を準備すべきかを知ることができた。

私のクラスは、約半数が外国人で、年齢や国も様々だった。その分、質問に対する答えも多様で、カナダだけでなく様々な国の文化を知ることができた。しかし、スピーキングのレベルも高く、彼らとの実力の差を埋めることに非常に苦労した。特に、リアルタイムの授業では、ほとんどがブレイクアウトルームでのグループディスカッションだったため、事前準備が欠かせなかった。授業では、課題に関係がなく、普段考えないような質問も多かったため、焦って答えが出ず、変なことを言ってしまう恥ずかしい思いをすることもあったし、一方で早く答えをまとめられて、余った時間でお互いの国のことや同じ趣味を持つ人と話すこともできた。

他に苦労したのは、積極性についてだ。私は、他の生徒の前で自分の意見を話したり、グループを代表して話したりすることが苦手で、今までなるべくそういうことを避けてきた。しかし、ここでは少人数での会話が多いため、必然的に発言を求められる環境になっており、それを繰り返し経験するうちに、自信をもって発言する力がついたように感じる。グループを代表して話すことには、あまり挑戦できなかったが、代表として意見をまとめて発表するという大変な役割に挑戦する他の生徒を見て、自分の足りない部分と向き合い、改善しようと努力する力が自分に不足していることを実感した。

授業や課題で出題されるトピックの中には、自国の観光地や社会問題についてのものもあり、普段から自国の文化や伝統、社会情勢に関心を持つことが重要であるということと、留学ではそれらを自ら世界に発信できるチャンスがあることに気付いた。また、4週間という短い時間だったが、想像していたよりも多くのものを得ることができたし、この留学を通して自分の未熟さを知り、今後の留学や就職活動に向けての課題や目標が、以前よりも明確になったと感じる。今回の経験を活かし、今後の英語学習のモチベーションを維持していきたいと思う。

## オンライン留学報告書

私は2月28日から3月25日までの約1か月間、カナダにあるヴィクトリア大学のオンライン留学を受講しました。このプログラムに参加した理由は、私はこれまで留学をしたことがなかったので実際に留学とはどういう感じなのか体験したいと思ったからです。留学が始まる前にガイダンスがありました。ガイダンスでは40人くらい参加していて、ほとんどが日本人でした。日本語での説明は一切なくすべて英語で、1時間くらいのガイダンスでしたとても疲れました。しかし、大学に入って英語で授業を進める経験があったので英語だけで話されても抵抗感はありませんでした。授業は10人程度にクラス分けされました。少人数のため一人一人見てくれてとてもやりやすかったです。生徒は日本人だけでなく、一人だけ日本人ではない生徒も参加していました。英語を話す授業は週に3回あって、他の日は週3回の日を備えて課題をこなしていく流れでした。時間が合わずに参加できませんでしたが、現地の人と気軽に話すことができる日もありました。課題は文法、単語、読解、発音、英語を書くものがありました。文法の説明は英語で、最初は全く分からなかったため google 翻訳や Weblia を使いながらわからない単語を調べたり、同じ文法のところを文法書で調べつつ勉強に励みました。持ってる文法書には書かれていないニュアンスがあったり、教科書では学んでない表現を知ることができたのでとても良い課題でした。課題は何度もできるようにクイズ形式になってたり、習ったことを活かせるディスカッションフォームがあったため、英語の実践ができました。授業では、先生が説明だけするのではなくほとんどが英語での対話でした。先生から課題が出され、二人から三人のグループに分けられて課題について英語で対話をするという形でした。ほとんどが必然的に日本人同士で組まされるので説明が難しいところは日本語で話してしまう甘えが出てしまいました。日本人ではない生徒と対話した時は日本語が通じないため英語で伝えるのが難しかったです。しかし、伝わったときは嬉しかったです。この留学を通して、いかに自分が英語を話すことができないかがわかりました。日本語ではこの単語は言えるけど英語だと思いつかないことが多々あり、日々単語の勉強をしなきゃいけないと思いました。授業の最終日、現地のカナダ人と英語で対話する授業があったのですが思ったことを伝えることができず悔しい思いをしました。だから、この悔しさをばねに今後も頑張っていきたいと思います。